

宮古島市における新型コロナ急増について注意喚起

沖縄県は、新型コロナウイルス新規感染者の数が高止まりしていることから、本日、新型コロナウイルス感染症対策本部を開催し、沖縄県での緊急事態宣言を検討しています。

宮古島市においても、1月に入り新型コロナの感染者が増え、特に先週末からの3日間に複数の介護施設や医療機関で21人の新規感染者が発生し、宮古島市内唯一の感染症指定医療機関である宮古病院の医療体制が大変逼迫している状況となっています。

県立宮古病院の新型コロナウイルス感染者の入院者数は、本日、19日の午前中現在で22人となっていますが、重篤化しやすいといわれている高齢者が多く、診療制限も行われる状況となっています。

宮古病院では、この後、緊急会見を開き病院の状況を詳しく説明することになっていますが、市としてもこの危機的状況に鑑み、緊急で市民の皆様や事業所の皆様に改めて各個人の健康管理と職場の感染対策の徹底をお願いすることにいたしました。

宮古島市における感染は、年末年始に帰省者と接触があった方からの感染事例もあることから、感染していても無症状である若者から、知らず知らずにウイルスを拡散している可能性もあります。一人の感染が家族内、職場内へと広がり、学校や高齢者施設等への感染に繋がっています。帰省者と接触した方やご家族の方、また島外へ渡航された方は2週間の徹底した健康観察を行い特に、高齢者と接する方は、接触を必要最小限にとどめる等の配慮をお願いします。

病院や介護施設等の事業所におかれましては、帰省者と接触した職員や大勢の会合に参加した職員の体調管理を行い、各事業所の感染対策マニュアルを徹底し体調不良時は医療機関や市の電話相談室へお電話ください。

また、カラオケ等からの感染も広がっている傾向が見られるようです。店舗等での換気や手指消毒、密にならない空間の提供等感染対策を徹底して

いただきますようお願いいたします。

これまで何度もお願いして参りましたが、市民の皆様にマスクの着用、手指消毒、三密を避けた行動等の感染予防を今一度徹底し、沖縄県特別対策期間中の不要不急の島外への渡航は控えていただきますようお願いいたします。

特に、医療従事者や介護事業従事者、学校教職員の皆様はこれまでも感染対策を行ってきたとは思いますが、高齢者や多くの方と接する職業の皆様方は、一人の感染から波及する社会的な影響も大きいことから、再度感染対策の徹底をしていただきますよう強くお願いいたします。

沖縄県の緊急事態宣言が発出されれば、改めて市の対策を発表することになっていますが、現在の宮古島市内の感染状況は市の緊急事態と捉えています。

長引く新型コロナ対策で、対策疲れや慣れによる油断が出てきているようですが、これ以上の感染拡大をここで食い止め、宮古島市民の健康を守る宮古病院が一刻も早く通常診療ができますように市民の皆様、事業所の皆様一丸となって、危機感を持ちながら感染対策の徹底を強くお願い致します。